



芝間市社会福祉協議会

下市毛地区

社協だより

第6号



「自主防災会活動状況」

15区自主防災会

担当 青柳 力

「しだれ桜

ボランティア活動報告」

会計担当 飯野千賀子

地域ボランティア「しだれ桜」の会は、「向う三軒両隣」の助け合いの体制をつくり、誰もが心豊かに安心して幸せに暮らせる社会「私達自身が誰かに支えられる日が来るまで、誰かを支えて行こう」と活動の中で、互いに連携することを目的に10年前に結成し、現在22名の会員で活動しています。ひとり暮らしの高齢者の安全確認を兼ねて、毎月4回の配食と会員が年2回下市毛会館で弁当を手作りし「ふれあい会食」として弁当を届けております。

数年前より地域の男性が会員に加わり弁当配達を担当しており、行動の範囲を大きく広げてきました。

近年、日本各地で大規模の風水害や土砂災害が発生しており、非常時にはスムーズに対応できるよう、15区の防災訓練に参加し「まきでの山菜おこわ炊飯」や「発電機を利用して炊いたご飯」での「おにぎり」作りにも参加するなど、地域の皆様との交流を大切にしています。



「会館の大掃除の後も

楽しみが!」

下市毛なのはな会

会長 井江裕子

あつという間に一年の最後のカレンダーになり12月を迎えると、なのはな会の最後のプログラムの中に会館の清掃が、毎年恒例行事として入ってきます。

大変辛いことに、会館が地域の中にあることにより、月例会、カラオケ、踊り、と会員の皆さんとの親睦の場として、また色々な行事のプログラム遂行の場として、月に5、6回使用させていただいており、年2回、9月と12月に感謝の気持ちを込めて多くの皆さんと共に、毎年会館の清掃をしています。平成24年からは、定期的に9月と12月に決め、集まった皆さんで自然に仕事の分担も流れの中で、各自が自主的に動いてくれます。

会館内は、まず内側からの清掃、全ガラス戸拭き、和室の畳拭き、台所、トイレ。玄関のスリッパの裏拭き、棚清掃、ホール。外側からはガラス戸の水洗い等と外回りの除草で終わります。又、会館隣の八坂神社の除草、木の剪定も行います。

9月の時には丁度稲刈りも終わり、畑仕事も一段落という時期とも重なり、清掃が終わってから、新米でおにぎり、持ち寄った野菜で作る煮物などで、秋の収穫を感謝しての楽しみも併せ持つ事が続いています。

12月には、そば打ちが恒例となり、男性陣が腕をふるって打ち上げたそばを鴨南蛮にして、9月同様持ち寄った野菜等で煮物やサラダ、酢の物等を作り、一寸早い年越しそばを食べながら、一年を締めくくるといふ楽しいひとときを、皆さんと共有しています。



9月10日(木)には、台風18号の湿った空気が(線状降水帯)の流れ込んだ大雨の影響で、茨城県には、危険性の4段階で一番上の大雨特別警報が出て、常総市では鬼怒川の堤防が決壊し、また、県内各地でも大規模な浸水被害に見舞われ、甚大な被害が発生しました。

15区内でも、県道の一部が冠水したり、隣接地より雨水が流れ込んで、空閑消防署が来て応急処置をしてもらった家もありました。

15区でも自分達の地域は自分達で守る「自助・共助」の精神で「自主防災会」が組織されています。

10月25日(日)に、大雨により沼川が氾濫したとの想定で、15区各種団体の協力をいただき、区民59名の参加により、①担架・リヤカーの組立・搬送②発電機・手回し充電器の利用③発電機利用炊飯・かまど、薪利用炊飯④チェーンソー活用⑤ハザードマップによる予想区域説明⑥一般避難所と拠点避難所の違いのポータルテント(着替えルーム、トイレテント)組立⑦火災報知器の設置の必要性⑧地震時のガスコンロの取扱等訓練・説明を実施するとともに、炊出しおにぎり(梅干し、山菜おこわ)と大規模災害に備えるために「印刷物や給水袋などを配布しました。

自分の命は、自分で守りましょう。

